

東北地区高等学校 PTA 連合会山形大会に参加して

嚶鳴 PTA 副会長 永森忠大

令和元年7月4日（木）、5日（金）の2日間、第68回東北地区高等学校 PTA 連合会山形大会が、山形市総合スポーツセンターを会場に開催されました。

山形西高からは、井上会長他27名の皆様よりご参加をいただきました。また本年は山形県高等学校 PTA 連合会が主管ということで、山形西高は大会記録部会を担当。12名の皆様より2日間の大会の様態を撮影するお手伝いをいただきました。

「一人ひとりの個性が奏であう未来へ」～自立・協働・創造をめざして～を大会テーマに開催された本大会。オープニングは山形北高校の櫻井紗花さんによる山形県民の歌「最上川」の独唱から始まり、会場が凜とした雰囲気になりました。東北各地区の PTA 活動の功績者への各表彰、各県代表校による PTA 活動の発表・研究協議が活発に行われました。

午後からは、生徒商業研究発表大会で史上初の2年連続日本一を達成した山形市立商業高校産業調査部による、店舗照明の提案やプロジェクションマッピングを活用した集客などの光の研究の発表があり、その完成度の高さに参加者から賞賛がおくられました。

その後、百ます計算や漢字練習の反復学習を基礎学力の向上に取り入れた「陰山メソッド」を確立された、陰山英男先生より講演をいただきました。感銘を受けたのが、百ます計算の真の目的は脳の活性化にあり、高校生でも数学や物理など壁にぶつかった際は、時間を計って百ます計算を反復することで成績が向上するとのことでした。

最後は村山産業高校郷土芸能部「又新連」による迫力のある演奏演舞が行われエンディングとなりました。

ご参加並びにお手伝いをいただきました皆様大変ありがとうございました。

